

国勢調査は開始100年を迎えました。  
その100年目が今年はじまります。

## 国

勢調査は日本の未来をつくるために必要な、大切な調査です。日本国内の人口や世帯、

就業者からみた産業構造などの状況を地域別に明らかにする統計で、「国の情勢」がわかり、「国の将来を予測するうえで非常に重要なデータ」といえます。

日本では大正9年（1920年）より調査が始まり、今年で100年の節目を迎えます。日本だけでなく、世界214か国で実施されています。

## こ

の調査によって得られた人口の調査結果は、多くの法令・制度の算定基準となる「法定人口」として用いられ、政治や行政などの公的な目的のほか、民間企業の経営判断や大学の研究活動などに広く活用されています。

## 今

年で100年目、第21回を迎える国勢調査。このコラムでは、9月中旬からの調査に向けて、「国勢調査のいろいろ」をお伝えしていきます。

まずは基本から！

# 国勢調査のいろいろ

## 調査の対象は？

令和2年10月1日現在で日本国内に住んでいるすべての人（外国人を含む）と世帯です。

## 調査の方法は？

- ・調査員が訪問し調査票に記入
- ・インターネット回答
- ・郵送での提出

## どんなことを聞かれるの？

### ◎世帯員について

「男女の別」、「出生の年月」、「配偶者の有無」、「就業状態」、「従業地または通学地」、「所属の事業所の名称と事業の種類」など15項目

### ◎世帯について

「世帯員の数」、「世帯の種類」、「住居の種類」、「住宅の建て方」の4項目

## どんなことに役立つの？

調査の結果から得られる人口は、日本の人口の基本となる「法定人口」として選挙区の区割りや地方交付税の算定基礎など、さまざまな法令・制度の算定基準となります。

### ◎ほかにも…

子育て支援のための施策、高齢者福祉施策、防災、環境整備、災害対策、企業や団体のサービス開発やマーケティングなど